



あいちゃん

あいかわ 議会だより

第 138 号

責任者 議会議長 鈴木一之
年 4 回発行・本号14ページ

健康プラザ条例可決

P2

町民との意見交換会を開催

P4
・
P5

町政を問う 一般質問に13人登壇

P6
～
P12

「観光放流」

撮影者：中村 定夫さん（春日台在住）

勇壮な放流と子供たちの真剣に見入る姿に感動しました。

（H25. 5. 15撮影）

※町議会では議会だよりの表紙写真を募集しています。応募要領は12ページをご覧ください。

平成25年8月15日 <6月第2回定例会>

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成25年第2回愛川町議会「6月定例会」が6月3日から会期15日間(本会議開催日4日間)にわたり開催されました。

この定例会では、固定資産評価審査委員会委員の選任をはじめ、条例の制定、専決処分承認、財産の取得など、6件の町長提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、陳情1件及び請願1件の審議を行いました。

また、最終日の6月14日には「旧愛川町郷土資料館特別委員会」の第1回会議を開催しました。本号では、これら「6月定例会」の内容を中心にお知らせいたします。

条例関係

◎愛川町立健康プラザ条例の制定
(賛成全員)

10月に供用開始が予定されている「愛川町立健康プラザ」(新保健センター)の設置及び管理に関して規定する新たな条例制定を可決したものです。なお、愛称を募集した結果、本町の健康づくりの拠点となる施設の名称に相応しいとして、「健康プラザ」が正式名称として採用されました。施行期日は、規則で定める日。



完成間近の町立健康プラザ

人事

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
(賛成全員)

(賛成全員)

前任委員の任期満了に伴い、次の方を選任することに同意したものです。
愛川町角田在住
長島 哲哉 氏

6月



定例会

財産の取得

◎新保健センター備品購入
(賛成全員)

数量 90品目、350個
取得価格 953万6千530円
納入者 株式会社ミヤダイ中央
納入期限 平成25年9月6日
◎ハイブリッド塵芥収集車購入
(賛成全員)
取得価格(1台) 750万7千500円

平成25年第2回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容		
3	月	本	会	議	町長提出議案の説明、専決処分の承認、継続費繰越計算書及び繰越明許費繰越計算書の報告	
						4
6	5	水	本	会	議	一般質問(7人)
	7	金	総務	建設	付託案件の審査、所管事務調査	
	10	月	常任	民生	付託案件の審査、所管事務調査	
6	14	金	本	会	議	提出議案の総括質疑・討論・採決、付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決

専決処分の承認

◎専決処分の承認(愛川町国民健康保険条例の一部改正)
(賛成全員)

地方税法の一部改正に伴い、5年間の期間限定で設けられていた国民健康保険の被保険者が、後期高齢者医療制度に移行する場合における保険税の軽減制度を、恒久化又

専決処分の承認

◎専決処分の承認(平成25年度愛川町一般会計補正予算(第1号))
(賛成全員)

神奈川県では4月16日に「風しん非常事態宣言」がなされ、本町においても風しんのまん延防止に向けた早急な対応が必要であることから、妊娠を予定又は希望している女性及び妊娠している女性の配偶者等を対象に、風しんワクチン接種費用の

納入者 神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社相模原支店
納入期限 平成25年12月20日
は延長する措置が講じられたことから、所要の改正を行った専決処分を承認したものです。
施行期日は、平成25年4月1日

一部を助成することとし、補正予算の専決処分を承認したものです。
この補正予算により、歳入歳出予算のそれぞれに280万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を120億1千480万3千円としたものです。

◎**継続費繰越計算書**
平成24年度・25年度の継続事業で進めている保健センター建設事業について、平成24年度予算年割額に19万4千250円の残額が生じたことから、翌年度に通次繰越をしたものです。

◎**繰越明許費繰越計算書**
国の補正予算を活用するため、平成25年3月定例会で可決した「平成24年度一般会計補正予算に設定した繰越明許費を平成25年度に繰り越したものです。」

「北下谷地区用水路防災対策事業負担金」

報告事項

◎継続費繰越計算書

平成24年度・25年度の継続事業で進めている保健センター建設事業について、平成24年度予算年割額に19万4千250円の残額が生じたことから、翌年度に通次繰越をしたものです。

一部を助成することとし、補正予算の専決処分を承認したものです。
この補正予算により、歳入歳出予算のそれぞれに280万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を120億1千480万3千円としたものです。

378万円
「橋りょう長寿命化修繕計画策定事業」
1千150万円
「幣山下平線整備事業」
については、電柱等支障物の移設に時間を要し、隣接する水田への出入り口や転落防止柵を設置する工事を平成24年度内に完了することができなかったことから、769万8千500円を平成25年度に繰り越したものです。

お詫び

6月5日の本会議前に、議事進行上の協議を行うため、急ぎよ議会運営委員会を開催したことにより、本会議の開会が1時間30分遅れることとなりました。
傍聴のためにお越しいただいた方やインターネット中継を視聴されていた方には、大変ご迷惑をおかけいたしました。

結論の出た請願・陳情

(敬称略)

【請願】

件名	審査結果	請願者
年金2.5%削減中止を求める請願	不採択	愛川町中津75-2 全日本年金者組合 愛川年金者の会 会長 勝又 荘蔵

【陳情】

件名	審査結果	陳情者
神奈川県最低賃金改定等についての陳情	不採択	厚木市旭町1-9-18志澤(うりんぼうビル3F) 日本労働組合総連合会神奈川県厚木愛甲地域連合 議長 加藤 良秋

請願・陳情の
ゆくえん

会派 議決一覧表

※議長は表決には加わりません。
各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政 (4人) 熊坂弘久議員 小倉議員 鳥羽議員 佐藤茂議員	あいかわ (3人) 馬場議員 鈴木議員 渡辺議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	公明 (2人) 井出議員 佐藤りえ議員	支えあう街 みんなの会 (2人) 木下議員 熊坂崇徳議員	玉利議員	議決結果
町長提出 第33号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
町長提出 第34号	専決処分の承認について(愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第35号	愛川町立健康プラザ条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第36号	専決処分の承認について(平成25年度愛川町一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第37号	財産の取得について(新保健センター備品購入)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第38号	財産の取得について(ハイブリッド塵芥収集車購入)	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 第2号	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	●	●	○	○	●	○●	○	不採択
請願 第2号	年金2.5%削減中止を求める請願	●	●	●	○	●	●	○	不採択

町民との意見交換会を実施

町議会では、町民皆様の意見を議会運営に反映させるため、平成23年7月に施行した「愛川町議会基本条例」に規定する意見交換会を昨年に引き続き実施しましたので、その内容等について報告します。

■実施後の対応

皆様からいただきましたさまざまなご意見・ご要望等は、内容を精査し「議会として行うべき事項」及び「町に要望等すべき事項」に分類し、対応してまいります。

◎愛川町議会基本条例
議会運営の最高規範となる条例で、町民全体の代表者としての議員の使命や自由討議による合意形成、意見交換会の実施を規定するとともに、陳情等を住民からの政策提案として位置付けるなど、「広く町民の声を聴く議会」「町民とともに歩む議会」「町民参加を基本とする開かれた議会」を目指す、制定したものです。

- 開催実績
 - ①5月14日(火) 中津公民館39人参加
 - ②5月15日(水) 町文化会館39人参加
 - ③5月16日(木) 半原公民館36人参加
- 開催時間は、すべて午後7時から
- 実施内容
 - ①議会報告
 - ・総務建設常任委員会審査報告及び質疑応答
 - ・教育民生常任委員会審査報告及び質疑応答
 - ②意見交換



中津公民館での意見交換会の様子

第2回 愛川町議会意見交換会実施報告書(要約版)

5月14日(火) 会場:中津公民館 午後7時~午後8時31分

参加者数 39人

NO.	意見・要望要旨	当日の回答要旨
1	中学校の男子用トイレの破損をどのように考えているのか。	長い年月が積み重なって、少しずつ破損していくようです。
2	小中学校のトイレがすべて洋式化されるのは何年後か。	今回、洋式化率を50%にして、そこから様子を見て、拡大することです。
3	男子用トイレの小便器は、存続という認識を持って頂きたい。	個室化は、いじめ対策が発想の原点です。
4	町立保育園の入所状況を町ホームページに掲載できないか。	要望として受け止めます。
5	町立保育園に申し込むと面接があるが、その意義について教えてほしい。	把握しておりませんので、確認いたします。 【調査結果：家庭において十分保育することができない理由やお子さんの持病、食べ物アレルギーへの対応方法等について、直接、状況等を確認するために行うものです。】
6	災害時には公衆電話がつながり易いので、多くの設置をお願いしたい。	災害時には、町内13箇所の広域避難所で緊急電話が利用できます。
7	半原にソーラー発電所ができたが、水耕栽培実施の考えはあるのか。	地元要望の項目には入っていません。
8	馬渡橋架け替え事業の進捗状況を説明して欲しい。	仮橋が平成25年の秋頃に始まり、その後、本橋工事に入ります。
9	愛川北部病院への利子補給の計画について説明して欲しい。	近日中に開催される地域医療懇話会で経営状況が報告される予定です。
10	文化会館図書室での本の盗難防止について伺う。	今後の図書館構想づくりの中で検討されるべきと考えます。
11	工業団地の排水橋の調査をお願いしたい。	早期の対策を要望していきます。
12	トイレ改修の件は、子どもの視点を持って取り組んでいただきたい。また、路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を進めてほしい。	要望として受け止めます。
13	空家対策については、是非町への働きかけをお願いしたい。	町では既に「みんなで守る環境美化のまち条例」で空家対策も講じていますが、今後とも町に要望していきます。
14	可燃ごみの焼却量は8,800トンですが、分別前の量はどの程度か。	8,800トンの根拠は、平成24年の10・11・12月のごみ排出量の21.5%減が根拠となっています。 【分別前の比較：平成23年度可燃ごみ総排出量は11,333トンで、2,533トンの減量となります。】
15	三増行きの深夜バスや原当麻、座間、相武台行きのバスが欲しい。	運営は民間会社ですが、要望等していききたいと思います。
16	議会だよりの発行が遅い。	要望として受け止めます。
17	図書館建設の具体的なスケジュールを示してほしい。	要望として受け止めます。
18	小田急多摩線延伸促進協議会への議会の支援について説明して欲しい。	住民と議会と行政が一体となって取り組んでいきます。

5月15日(水) 会場：町文化会館 午後7時～午後8時34分

参加者数 39人

No.	意見・要望要旨	当日の回答要旨
1	高峰地区区道の右折車線が少ないが、どうお考えなのか。	引き続き町を通じて県に要望いたします。
2	県の土砂災害警戒区域の指定は良いが、ハード面が整備されていない。	要望として受け止めます。
3	三増滝の沢の県有地との境に山林を所有しているが、県有地側が崩落し、杭だけになっている。現地調査をして対応していただきたい。	要望として受け止めます。 (翌日現地調査を実施しました。)
4	愛川北部病院の利子補給に関して、高額医療機器はリースか買い取りか。	詳細については、把握していません。 【調査結果：リースは利子補給制度対象外です。】
5	愛川聖苑の駐車場の拡張と出入り口を増やして欲しい。	要望として受け止めます。
6	愛川北部病院の会計が遅い。	町から要望していただきます。
7	トイレ掃除に水を使うから経年劣化する。使わない方法があるので、他市の状況を調べていただきたい。	研究します。
8	お茶畑の消毒は、どうなっているのか。	詳細は、把握していません。
9	三増地区の農地の崩落について相談窓口がわからず、対応ができない。また、議会でもこの状況を知っておいでいただきたい。	管理者は厚木土木事務所です。また、農地の崩落については議会として何ができるか検討します。
10	議員の日々の行動がみえない。ホームページをもつべきであり、またインターネット研修もやるべきである。	要望として受け止めます。
11	議員の後援会の中で、政策集団をつくっていただきたい。	要望として受け止めます。
12	町議会のホームページに今回の意見交換会の表記がない。昨年も発言したのにどうなっているのか。	時間がかかり申し訳ありませんが、現在協議中です。
13	開催日程についてですが、なぜ平日の3日間になったのか。	今回は、昨年の意見、要望を踏まえ、違った形で開催しました。
14	意見交換会の実施方法について、再考していただきたい。	要望として受け止めます。
15	愛川町一周駅伝の7区のコースを検討していただきたい。	要望として受け止めます。
16	防災訓練には、議員も参加して欲しい。	議員は、地域の防災訓練に参加しています。
17	昨年開催の意見交換会をどのように評価しているのか。	昨年は、結果的にPRが不足していました。
18	お茶の栽培で使用する農薬による人的被害が心配であるため、「人・農地プラン」による農地や居住地域からある程度距離を離して栽培してもらいたいので、議員立法等の対応をして欲しい。	要望として受け止めます。

5月16日(木) 会場：半原公民館 午後7時～午後8時15分

参加者数 36人

No.	意見・要望要旨	当日の回答要旨
1	ごみ処理事業費について、今まで美化プラントで処理していたが、どの程度増減があるのか。	平成24年の10・11・12月のごみ排出量の21.5%減が目標となっています。【ごみ処理経費の比較：ごみ処理経費については、総体的に550万円の削減になります。】
2	今回の議会報告の報告事業を8事業とした根拠は何ですか。	時間の都合で8件が適当と判断しました。
3	さまざまな事業における議論の中で、集約したというかたちを検討してほしい。	参考にさせていただきます。
4	半原小の旧校舎保存を求める要望書を町と議会に提出しているが、その後の状況について説明して欲しい。	3月議会で特別委員会を立ち上げました。6月の第1回会議で、次の方向性が出ると思います。
5	半原小の旧校舎は移転しながら保存の方向でお願いしたい。	要望として受け止めます。
6	馬渡橋架け替えについて、具体的に説明して欲しい。	仮橋が平成25年11月頃に始まり、本橋は平成28年度を完成予定とし、今の場所に幅員11メートルで、上流側に歩道がつく予定です。
7	傍聴にいくと複数の議員が同じような質問をしているので、事前に調整し、たくさんの質問をする必要があると思います。	議会運営委員会等で検討します。なお、再質問ではそれぞれの議員の視点から質問しています。
8	開発によるゴミ集積場所の新設はスペースを設けるだけではなく、すぐ使えるようにできないものか。	ごみの収集所については利用者による工夫が主体ですが、開発業者に対する要望は所管部署からできると思います。
9	待機児童解消の対策を伺います。	中津南保育園の拡充等、対策はしていますが、追いつかないのが現状です。引き続き要望いたします。
10	6月議会で山田町長に対し、4選目出馬意向の確認をするのか。	今のところ議会として動きはありません。
11	美化プラントの建設等の予定はないのか。	現在、環境施設組合を組織しており、プラントの建設は考えていません。
12	この意見交換会でなぜ鳥インフルエンザのことをとりあげないのか。	要望として受け止めます。
13	土砂災害についての対応を議会として進めているのか。	議会としても提案をしており、行政にも既に動きがあります。現在、深沢と柄沢を先行調査しており、大木化した木の伐採は、28年度になると思われます。

※上記の内容は、要旨のみ記載しています。実施報告書の全文は町議会ホームページ等で公開しています。

一般質問



町長 観光広場を活用した地場産品の販売については、観光振興を図る上でも理解できます。前向きに検討をしていきたいと考えています。

地場産品の販売 前向きに検討

問 愛川ソーラーパークに隣接する観光広場で地場産品の販売ができるよう「お日さま市」の開催について、町の考えを伺います。

「お日さま市」 観光広場で開催



井上 博明議員

町有建築物の 耐震化の早期実施

問 平成25年2月現在で、23箇所町有建築物の耐震診断が行われていません。これらの建物については、早急に耐震診断を実施し、必要な耐震化を進めるべきと考えますが、町の取り組みを伺います。

緊急避難所もあり 診断の実施を検討

町長 耐震診断を実施していない町有建築物については、施設利用者の安心・安全の確保はもちろん、災害時には、地域住民の緊急避難所に指定されている施設もあることから、今後、計画的な耐震診断の実施について検討していきたいと考えています。

他の質問事項①子育て支援対策について②環境対策について

風しん予防対策



熊坂 弘久議員

問 風しん予防対策について伺います。

ワクチン接種 費用の一部を助成

町長 本年5月から9月までの期間で、風しん単独ワクチンは6千447円のうち4千447円を、麻しん混合ワクチンは1万983円のうち7千983円を助成します。

なお、自己負担の免除者は、生活保護受給世帯、町民税非課税世帯です。

健康推進課長 接種の必要性は、企業、学校に普及啓発していきます。



初夏の八菅神社

さがみ縦貫道路と観光振興

問 新たな開通を契機に、どのような観光振興策をとるのかわかりますか。

資源を活かし 客の誘致促進

町長 さがみ縦貫道路の開通による地域別の集客方法ですが、半原地区は宮ヶ瀬ダムとあいかわ公園、愛川ソーラーパークを結ぶツーリズム事業、高峰地区は三増合戦場や旗立て松等の史跡を中心に

としたハイキングコース及び地場産品を加えたバスツアー等のPR、中津地区は八菅山、八菅神社、山十郎と中津往還等の古い町並みの観光資源を活用し、民間の交通事業者と合同事業を行っていきます。また、内陸工業団地内の工場見学体験を盛り込んだツーリズム事業も継続し、塩川滝や中津川の自然をPRするなど、さらなる観光客の誘致を図っていきます。

他の質問事項①マイナンバー制度について

町長 再度、行政改革大綱第5次改訂版で取り上げ的研究中です。統合では財政的にメリットが少なく、廃止となれば人件費的に相当メリットがありますが、特に愛川地区住民の理解が必要です。

地域の理解を得て 廃止も含めて検討

問 人口や職員が減少する中、選択と集中の観点から効率化を図り、地域の核施設として賑わいが生まれるよう、出張所と公民館の統合について考えを伺います。

出張所と公民館の統合



山中 正樹議員



半原出張所

町長 身を守るためには、効果的な訓練であると認識しており、県との連携を図りながら、町民や企業、各種団体等へ訓練参加を広くPRするとともに、多くの方が参加できるように、具体的な訓練日程を検討していきます。

終息傾向にあるが 万が一には迅速に
町長 ここにきて終息傾向にあります。国では引き続き侵入防止に全力を挙げています。本町の中央養鶏では衛生管理などを既に実践しています。仮に家禽類に鳥インフル

問 3月に中国で3名の感染が発表され、5月7日現在で31名が死亡、130名以上が感染し、WHOは警戒しています。そこで、町の対応状況について伺います。

H7N9鳥インフル対応

が発生した場合は県に協力し、町独自では情報提供などを行います。国では、万一、人から人への感染が始まった場合に備え、指定感染症に指定するなどの措置が講じられました。今後は行動計画に基づき、迅速な対応を図ります。国保医療課長 皆さんの準備としては、手洗い、手指の消毒、うがい、マスクなど、基本的な衛生習慣を守ることが大切と考えています。他の質問事項なし

効果的な訓練と認識 県と連携して実施

問 神奈川県では、本年9月5日午前11時に、それぞれの場所で行なわれるシェイクアウト訓練を実施しますが、本町で実施の考えを伺います。

シェイクアウト訓練



渡辺 基議員

町長 まずは緊急性の高 **重度の方を優先 軽度・中度は在宅で**

問 特別養護老人ホームへの入所待機者が2年前で176人ですが、待機者ゼロに向けての考えを伺います。

特養ホームの待機者

い要介護4又は5の重度の待機者を優先しているところであり、軽度・中度の方にあつては、できる限り在宅での生活を継続できるように、在宅介護サービスをご利用いただきたい旨を各施設長にお話ししています。他の質問事項なし



安全行動の1-2-3



※シェイクアウト訓練とは、身を守るための基本的な行動を、各地域の学校・職場・外出先などで一斉に実践する大規模な地震防災訓練のことです。

町長 教育委員会は、政治的中立性や継続性、安定性を確保するため、自治体の長から独立した合議制の執行機関で、活発な議論を行うことで活性化を図り、指導主事などの専門家の充実や関係者の情報共有、町長部局との連携が図られることが重要です。

独立した執行機関 活性化を図る

問 教育委員会制度の形が変化が指摘されてきたが、本来の姿とは何か伺います。

教育委員会制度 本来の姿とは



小林 敬子議員

「河川敷のごみ」 人を雇い「持ち帰り」の指導を

問 毎年決まって河川敷でのバーベキューなどで捨てられたごみが問題になります。そこで、期間限定で人を雇ってごみを持ち帰る指導をしてもらうことで、河川敷をごみ捨て場にさせない取り組みを目指すことにしています。

意識付けが重要 今後の研究課題

町長 一部の心ない河川

遊客によるバーベキューごみなどの放置があるので、河川の利用者がごみを持ち帰り、河川環境の美化や保全に努めていただくよう意識付けを図っていくことが重要です。指導員の雇用は、費用の負担増につながり、費用対効果も検証する必要があることから、今後の研究課題とします。

他の質問事項①新保健センターと文化会館の駐車場・駐輪場について



愛川橋下流の河川敷 (半原地内)

町長 町民活動サポートセンターは、自治基本条例に基づき、豊かで活力ある地域社会の実現に資することが目的です。運営体制は、公募委員10人以内の運営委員会で、各種事業の立案、広報誌の作成や公益活動に関心のある方への支援を行っています。

活力ある地域社会 公募委員が支える

問 サポートセンターは協働の中心を担うと言われますが、その目的や運営体制を伺います。

サポートセンター 目的と運営体制



玉利 優議員

町長 町民活動サポートセンターは、自治基本条例に基づき、豊かで活力ある地域社会の実現に資することが目的です。運営体制は、公募委員10人以内の運営委員会で、各種事業の立案、広報誌の作成や公益活動に関心のある方への支援を行っています。

全国平均より低い 思考・判断が苦手

問 中学生の学力について、その現状や課題、学力向上のための条件整備などを伺います。

中学生の学力の現状と課題

町長 学力検査の結果では、受験者全体の平均より低い状況で、生活実態と関連したクロス集計では、家庭学習や携帯電話、テレビ、ゲームの遊び時間に課題が伺われます。また、本町の生徒は、思考力、判断力、表現力などの能力に苦手意識があり、課題が大きいものと思われま。学力向上の条件整備では、教育委員会としては、学力調査の分析情報を各学校に提供するとともに、教員の授業力向上のための研修の充実や講演を実施し、さらにPTAと連携して生活習慣を改めて意識する取り組みを行います。他の質問事項なし



町民活動サポートセンター事務室

町長 受け入れ体制の課題もあり、介護支援ボランティアポイント制度の導入は、現時点では難しいものと考えています。

課題が多く 現時点では困難

問 居宅介護を対象としたボランティア活動に対し、献血手帳のように点数化することで、将来、自分や困っている人のために使えるボランティアの導入を以前から要請しているが、取り組みについて伺います。

介護ボランティア 点数化導入の考え



小倉 英嗣議員



町長 舗装材料の生コン

技術的な問題等 様々な課題あり

問 昔は、地域住民が材料支給を受けて町道の舗装を行っていたが、地元要望を受けて材料支給ができないか伺います。

道路舗装材料の支給を望む

クリートは、工場の稼働状況により支給が平日に限定されることや技術的な問題、土地の境界や不測の事態への対応など、課題があることから、難しいと考えています。他の質問事項①カーボンニュートラルに向けた本町の取り組みについて

人口統計の手法 実際の人口



小島 総一郎議員

問 人口統計の手法が複数あり、実際の人口が分かりにくいですが、町の考え方を伺います。

総合計画にも採用 住基台帳人口を公表

町長 人口の統計手法としては、国勢調査によるものと住民基本台帳によるものがあります。町では、平成18年4月から住民基本台帳の人口を公表しており、今後とも、総合計画にも採用している住民基本台帳の人口を公表していきたいと考えています。

町長 人口の統計手法としては、国勢調査によるものと住民基本台帳によるものがあります。町では、平成18年4月から住民基本台帳の人口を公表しており、今後とも、総合計画にも採用している住民基本台帳の人口を公表していきたいと考えています。



教育委員会制度改革の動き

問 教育委員会制度改革の動きについて、教育長の考えを伺います。

一元化の影響懸念 中教審の動向注視

教育長 今回の教育再生実行会議による提言では、自治体の長が任命を行う教育長に教育行政の権限と責任を一元化する方向で見直しを検討されています。

ますが、一元化は独善的になる恐れがあります。また、自治体の長から直接任命されることになると、教育行政における政治的中立性、安定性、継続性の確保に影響が及ぶことも考えられます。これらは、普遍的に維持すべきものであり、今後の中央教育審議会の動向を注視していきます。他の質問事項なし



学校の老朽化対策

井出 一己議員

問

学校施設の老朽化対策は、中長期的な整備計画を策定の上、進めるべきと考えます。また、ライフラインも併せて今後の対策を伺います。

計画的な改修維持管理に努める

町長 日常点検等で状況を把握し、計画的な改修を行うなど、維持管理に努めています。

教育次長 ライフラインは経年劣化が進み、漏水など補修が必要な箇所がありますが、随時対応し、維持管理に努めます。

自転車損害保険の加入促進

問

自転車、歩行者に後遺障害を負わせた事故で、損害賠償額が約5千万円になった事例があります。いざという時の備えとともに、交通ルールを守る意識を高めることにもつながるので、保険加入に対して助成するなど、促進の考えを伺います。

各種教室で周知交通事故を防止

町長 町では、大人自転車交通安全教室の開催や

町内の小学校、地域などが主催する子ども自転車教室などの各種自転車教室はもとより、交通安全教室などにおいて、T Sマーク付帯保険の周知を図っているほか、民間の総合保険なども含め、自主的な自転車損害保険への加入啓発を行っています。今後も保険加入を促進し、被害者の救済と交通事故防止に努めたいと考えています。

他の質問事項①教育環境の改革について



安全運転を!!

ゲートキーパー全職員を養成



佐藤 りえ議員

問

町民と多く接する全職員が、ゲートキーパーの役割ができるように養成を希望するが、考えを伺います。

自殺対策の研修精神疾患に理解

町長 平成23年度から総務課と福祉支援課で自殺対策に関する職員研修を実施し、支援の窓口に繋げる実演を交えた講義を行ったほか、平成24年度は、自殺と関連があると言われている精神疾患に対する理解を深める講義を実施したところです。



「ABCリスク検査」胃がん検診に導入を

問

胃がん検診に、胃がん発症のリスクを明らかにするABCリスク検査を導入することについて、考えを伺います。

国の動向見極め今後の研究課題

町長 現時点では、胃がん検診において、ABCリスク検査は、死亡率減

少効果を示す証拠が十分であるとされており、国の指針の中には含まれていないことから、胃がん検診へのABCリスク検査の導入については、国の動向や研究成果などを見極めながら、今後の研究課題とさせていただきます。他の質問事項なし

※ゲートキーパー：自殺の兆候が見られる方へ声かけを行うなど、自殺防止活動を担う人材のことです。

町長 提言を受け、国の防災基本計画も改訂されると思われるので、町の地域防災計画においても国の計画との整合性を図るなど、適宜、対応していきたいと考えています。

国と整合性を図り 適宜対応していく

問 危機管理は、幅広い分野で必要だと思えます。新聞に大規模噴火対策に関する提言をまとめたとの記事が掲載されましたが、町ではこれからどのような対策を考えているか伺います。

大規模災害対策 町の危機管理



木下 眞樹子議員



愛川町地域防災計画

問 近年、小中一貫教育を実施している地域が多くなっていますが、考えを伺います。

小中一貫教育の実施

近年、小中一貫教育を実施している地域が多くなっていますが、考えを伺います。

施設分離型の方式 連携推進は十分

教育長 本町の小中一貫教育に対する基本的な考え方として、施設一体型一貫校方式による実施は、他の質問事項なし

現在考えていません。

義務教育9年間を見通した教育課程の編成をする中で、本町の小中学校の間では、様々な連携に取り組んでいます。実質的には、施設分離型連携校方式による小中一貫教育の狙いに沿った連携推進が、現在でも十分図られていると考えています。

町長 町管理の道路橋142橋のうち、重要性が高い19橋を優先に点検調査を行い、長寿命化修繕計画を平成24年度に策定し、経費の縮減と平準化に努めています。また現在、新たに橋を架ける計画は持っていません。

長寿命化修繕計画 平成24年度に策定

問 全国至る所でトンネルや高速道路の老朽化の問題があります。本町に架かる橋の現状、また新規の橋が必要などの考えはないか伺います。

町内の橋の現状 新規の橋の考え



佐藤 茂議員

町長 民間団体と行政が一体となって鉄道誘致の

町が事務局を担当 様々な取組を進める

問 町民の足となる交通インフラは町の発展を担うものです。愛川小田急多摩線延伸促進協議会が設立されたが、町はどうサポートしていくのか。また、町外への通勤通学者の交通手段をどう考えるか伺います。

「インフラ整備」 通勤通学者の交通手段

町長 民間団体と行政が一体となって鉄道誘致の
また、町外への通勤通学者の利便性向上を図るため、道路改良や新設による渋滞解消、バス路線の充実、鉄道の誘致に向けた取り組みを進めていきます。
他の質問事項なし

機運を高めていくことが必要であり、協議会運営に係る事務負担軽減のため、町が事務局を担当し、活動の円滑化を図るため、運営費補助金を計上しているところです。



八菅橋と中津大橋



選挙公報の掲載 町ホームページで

熊坂 崇徳議員

問 昨年6月議会でも同じ質問をしました。町長選挙、町議会議員選挙の選挙公報を町ホームページに掲載する考えはあるのか伺います。

選管委員会で協議 町長選挙から掲載予定

町長 本町においても町選挙管理委員会で協議をいただき、本年10月に予定されている町長選挙からホームページに選挙公報を掲載し、有権者に対する選挙啓発と併せて利便性の向上に努めていきます。

小型家電の資源化対策

問 デジタルカメラやゲーム機等、使用済み小型電子機器の再資源化を促進するために、4月1日から小型家電リサイクル法が施行されましたが、本町ではどのような考えでいるのか伺います。

町長 使用済み小型家電の資源化については、有

意義があると認識 最適な方法を考慮

町長 使用済み小型家電の資源化については、有

用な金属資源の確保、廃棄物の減量化対策及び最終処分場の延命化にも寄与し、大変意義のあるものと認識しています。

しかしながら、回収する品目や回収方法及びコスト面、また消費者である町民の負担などの課題も多いことから、本町に最も適した方法により取り組んでいきたいと考えています。

他の質問事項なし



議会審議状況を ライブ・録画中継

町議会では町民参加を基本とする開かれた議会を実現するため、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画中継を行っております。

視聴にあたっては、「町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。

【ホームページアドレス】
<http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/assembly/index.html>



議会だより 表紙写真を募集

愛川町議会では、「あいかわ議会だより」の表紙写真を募集しています。

町内の風景・風物など季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙を飾りませんか。

■応募資格 町内在住または在勤の方

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦のレイアウトを原則とし、データの場合は、500万画素以上でjpeg形式・プリントの場合は、2Lサイズ以上とします。

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品の名前、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント写真の場合は郵送でお送りください。(随時受付)

【電子メールアドレス】
gikai@town.aikawaka.nagawa.jp

【郵便送付先住所】
〒243-0392
愛川町角田251-1
愛川町役場議会事務局宛

■注意事項

- ・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。
- ・応募作品は原則として返却しません。
- ・編集上、写真をトリミングする場合があります。
- ・採用された写真の著作権は、町に帰属します。
- ・採用された写真は、応募者の氏名を表紙に掲載します。掲載を希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。
- ・採用者への謝礼はありません。

旧愛川町郷土資料館特別委員会開催

6月14日の定例会最終日に、「旧愛川町郷土資料館の取り扱い及び方向性について」を調査するため、第1回「旧愛川町郷土資料館特別委員会」を開催しました。

今回の特別委員会では、正副委員長長の互選を行い、委員長には小倉英嗣副議長、副委員長には馬場司議員が選出され、過去の経過確認、現地調査を実施しました。

※旧愛川町郷土資料館

半原小学校の木造校舎として大正15年に建設されたもので、半原の宮大工が建築に関わったとされています。新校舎が建設される昭和53年まで校舎として使用され、その後、平成21年3月に県立あいかわ公園内に新郷土資料館が開館するまで、「町郷土資料館」として活用されてきました。



旧愛川町郷土資料館現地調査の様子

旧愛川町郷土資料館の取り扱いについては、平成23年度に町職員を構成員とする庁内検討委員会で「解体・取り壊し」を基本方針とし、「一部保存」を第2案とする検討結果がまとめられました。平成24年度には、外部委員を構成員とする旧愛川町郷土資料館検討委員会に「旧愛川町郷土資料館の取り扱い及び方向性について」が諮問され、「建物は取り壊すが、一部部材の保存、模型・写真等の記録保存を行う」案と「建物の一部を移築し、保存活用する」案の2案が答申されました。

平成24年度 政務調査費 収支報告

政務調査費は、地方自治法や町議会政務調査費の交付に関する条例の規定に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、各会派又は会派に所属しない議員に交付されるものです。

交付額は、議員1人あたり月額1万円です。

各会派又は会派に所属しない議員から提出された平成24年度分の政務調査費交付金の収支報告は、次のとおりです。

※平成24年9月に地方自治法の一部が改正され、平成25年度からは「政務調査費」が「政務活動費」に変更となりました。

(単位：円)

会派名 (所属議員数)	愛政クラブ (4人)	あいかわ クラブ (3人)	あすか (2人)	共産党 (2人)	公明党 (2人)	支えあう街 ・ みんなの会 (2人)	佐藤茂議員 (無所属) ※平成24年9月 から愛政クラ ブへ加入	玉利優議員 (無所属)	合計
交付額	430,000	360,000	240,000	240,000	240,000	240,000	50,000	120,000	1,920,000
政務調査の 実経費	431,142	374,186	255,671	276,621	253,659	304,303	71,295	95,640	2,062,517
返還額	0	0	0	0	0	0	0	24,360	24,360

※「(所属議員数)」は平成25年3月31日現在です。

※「無所属」であった佐藤茂議員が平成24年8月28日に会派「愛政クラブ」に加入したため、平成24年9月から翌3月までの7ヶ月分(7万円)を「愛政クラブ」に追加交付しています。

町民の声

「声掛け」



関戸 歌子 さん

(中津在住)

梅雨の晴れ間のひと時、畑に出て汗を流していました。空が暗くなり突然草木が大きく揺られて大粒の雨が降ってきました。急いで農具を物置に入れて、ホッとして玄関先に立っていますと、大きな声が出て、5、6人の男子中学生が家の前の道を通りかかりました。思わず「傘貸してあげるから持つて行きなさいよ」と声を掛けました。すると

「大勢だからいいです。」「一杯あるから。」「いつ返せるかわからないから。」「いつでもいいよ。門の前に置いておけば。」「でも壊すと困るから。」「とびしょ濡れになりながら私の声に足を止めて答えていました。そして、「もう濡れているから。ありがとうございませした。」と雨の中を帰って行きました。天気の良い日でしたら気にもしない学

生さん達の行動に清々しさを感じました。いじめ、自殺と暗い問題が多い昨今、雨の中で「ありがとう。」と言える子ども達がいることは、すばらしいことだと思います。皆様も近所の子どもさんにも、「おはよう。」「お帰りなさい。」と声掛けをしてみてもいいかでしょう。子どもが近い存在となり、見守りもできるのではないかと思います。

編集後記

桜の開花が早かった。番狂わせの春と違って、一段と暑さの厳しい夏を迎えています。何か、何お過ごしでしょうか。議会基本条例に基づき、町民の声を聴くために実施した意見交換会は、昨年を上回る多くの方に参加をいただきました。当日の内容を、紙面に掲載していますが、町長と話し合うつどいとは一味違った対話になっています。議会たよりへの改善要望もありましたので、一つ一つ協議を重ね、改善を図っていきたくと考えています。

次回定例会

9月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、8月23日(金)に開催予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町議会のホームページでもご覧になります。

平成25年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
9	2	月	本会議 (提出議案の説明)
	3	火	本会議 (一般質問)
	4	水	本会議 (一般質問)
	9	月	本会議 (個人総括質疑)
	11	水	本会議 (会派代表質疑)
	13	金	総務建設常任委員会
	17	火	教育民生常任委員会
	19	木	総務建設常任委員会
	20	金	教育民生常任委員会
	26	木	本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)
27	金	予備日	

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、6月定例会の会議録は、9月中には備え付けができません。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になります。

施設設置録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」の協力により視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)

議会だより編集委員会

- 委員長 小林 敬子
- 副委員長 渡辺 基
- 委員 玉利 優
- 委員 佐藤 りえ
- 委員 熊坂 崇徳
- 委員 佐藤 茂
- 委員 馬場 司
- 委員 鳥羽 清